

9.こども・子育て・若者 に関する施策

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち		分野	こども・子育て・若者
基本方針	安心してこどもを産み育てられる支援の充実		基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	9-01-①	施策名	結婚・妊娠・出産に向けた環境整備	

施策の概要

妊娠届出時からすべての妊婦・子育て家庭に寄り添い、面談等を通じて相談に応じ、各家庭のニーズに応じた必要な支援につなぐとともに、新婚世帯や子育て世帯の負担軽減を図るため、経済的支援を一体的に実施します。また、妊産婦の健康診査に要する費用の助成を実施することで、妊産婦の健康管理の充実および経済的負担の軽減を図ります。

成果指標(単位)	妊娠期から出産後において、助産師や保健師、保育士等からの相談・指導・ケア等を十分に受けることができたかについて、「満足」と回答された方の割合(%)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	92.3	92.6	92.9	93.2
実績値	92	92.6			

成果指標実績に対するコメント

妊娠・出産・子育てにおける切れ目のない支援を提供するため、様々な悩みや不安に応じ、必要な支援につなぐ伴走型相談支援と経済的支援を一体的に実施した。また、妊娠期から子育て支援サービスに関する情報を子育て家庭に広く周知するため、ホームページや子育て情報サイトを活用した情報発信にも努めた。これらの取組みにより、成果指標は目標値を上回った。

施策の達成度評価

妊娠から出産、子育て期まで必要な支援につなぐ伴走型相談支援と経済的支援を効果的に組み合わせることで、多様な悩みや不安に対応した切れ目のない支援を実施することができた。今後は、妊婦や子育て家庭にさらに寄り添った伴走型相談支援の充実を図るとともに、必要な子育て情報や子育て支援サービスがより広く対象者に届くよう、周知方法や情報発信の工夫を継続していく必要がある。

当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.14 私の暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い」であり、偏差値は59.5という結果であった。本市では、偏差値が比較的高水準であることから、引き続きこれらの支援を継続する。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

すべての妊婦や子育て家庭が、安心して妊娠・出産・子育てができるよう、多種多様なニーズに応じた伴走型相談支援と経済的支援の充実を図る。また、子育て情報や子育て支援サービス等の取組みが市民に十分に認識されるよう、情報発信の工夫を行い広く周知に努める。

結婚・妊娠・出産に向けた環境整備については、「No.14 私の暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い」という指標にかかるウェルビーイング向上にも資すると考えており、ライフステージが変化する節目における支援を実施していく。

■施策評価シート 9-01-①

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
総合相談事業(衛生費)	子育て相談センター	○	母子健康手帳交付時や随時の相談を実施し、情報提供や不安の軽減を図り、また、継続支援が必要な場合は、関係機関と情報共有や連携を図り、必要な支援につなげることができ、期待どおりの成果を得ることができたため。
妊婦健診事業	子育て相談センター	○	安心して出産を迎えるため、妊婦健診や1か月児健康診査にかかる費用負担を軽減するため、公費負担助成を実施し、期待どおりの成果を得ることができたため。
妊娠・出産包括支援事業	子育て相談センター	○	産前産後サポート事業や産婦健診など産後の母児の相談支援に加え、令和7年度から産後ケア事業の「通所サービス」を新たに導入し、支援を充実させ、期待どおりの成果を得ることができたため。
妊婦等包括相談支援事業	子育て相談センター	○	妊娠届出時より、妊婦や特に0～2歳の低年齢期の子育て家庭に寄り添い、必要な支援につなぐ伴走型相談支援と妊婦のための支援給付を効果的に組み合わせることで、妊婦等の身体的、精神的ケア及び経済的支援を実施し、期待どおりの成果を得ることができたため。
結婚新生活支援事業	こども若者政策課	○	新生活にかかる住居費等の支援を実施したことにより、新婚世帯の負担軽減とともに、安心して結婚できる環境づくりおよび定住促進を図ることができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
不妊・不育治療費助成事業	子育て相談センター

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
14	私の暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い	実数	3.2	3.2			
		偏差値	59.5	59.5			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】								備考
客観指標No. (令和7年度)		26	82					

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち		分野	こども・子育て・若者
基本方針	安心してこどもを産み育てられる支援の充実		基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	9-01-②	施策名	こどもの発育・発達に向けた子育て支援	

施策の概要

すべてのこどもが健やかに育つよう、病気等の予防・早期発見・早期対応に努めます。また、子育て家庭の負担軽減のための家事・育児を支援するヘルパー派遣やこどもの成長や発達に関して、養育者等が正しい知識を持ち、こどもと共に育つことで、不安や悩みを軽減し育児できるよう切れ目のない子育て支援の充実を図ります。

成果指標(単位)	出産後にすこやか訪問を利用した人数(人)				
	令和6年度 (※基準値)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	1,050	1,040	1,049	1,056
実績値	1,112	994			

成果指標実績に対するコメント

乳幼児健診や専門職による訪問などにより、こどもの発育や発達、病気等の早期発見・早期対応をすることで、養育者への正しい知識や情報を提供し、不安軽減や育児支援に繋がれるよう努めたが、すこやか訪問の対象者が目標値を下回ったことから、実績値も下回った。

施策の達成度評価

こどもの成長や発達について、養育者が正しく知識を持ち、理解を深めることで、乳幼児健診や専門職による訪問時の早期発見から関係機関への適切な支援につなげ、養育者等の不安や悩みを軽減でき、引き続き切れ目のない支援を充実させる。

当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.14 私の暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い」であり、偏差値は59.5という結果であった。本市では、偏差値が比較的高水準であることから、引き続きすべてのこどもが健やかに育つよう、これらの支援を継続する。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

養育者がこどもに適切な関わりができるよう相談支援や情報提供を行うことで、成長・発達について正しい知識を持ち、不安や悩みを軽減できる取組に努める。

こどもの発育・発達に向けた子育て支援については、「No.14 私の暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い」という指標にかかるウェルビーイング向上にも資すると考えており、ライフステージが変化する節目における支援を実施していく。

■施策評価シート

9-01-②

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
総合相談事業(民生費)	子育て相談センター	○	出産から育児、子育てに関して切れ目のない子育て支援(草津市版ネウボウ)を行うため、相談支援や子育てサービスの情報提供を実施し、不安の軽減を図るとともに、相談等を通じて必要な子育て支援サービスにつなげ、期待どおりの成果を得ることができたため。
乳幼児健診事業	子育て相談センター	○	こどもの健全な育成・健康増進を図るとともに、障害の早期発見・早期療育を推進し、福祉・教育につながる最初の役割を担い、不適切な養育を早期発見し、早期に子育ての支援が必要な乳幼児を把握でき、期待どおりの成果を得ることができたため。
新生児訪問事業(すこやか訪問事業(1回目))	子育て相談センター	○	概ね生後4か月未満の乳児のいる家庭を訪問し、養育者の心身の状況および養育の状況を把握し、育児等に係る相談支援を行い、育児不安の解消を行うとともに、虐待予防の観点から養育支援が必要なケースを早期に発見し、関係機関と連絡調整を図り、期待どおりの成果を得ることができたため。
育児等支援家庭訪問事業(すこやか訪問事業(2回目))	子育て相談センター	○	育児に関する相談・子育てサービスの情報提供を実施し、不安の軽減を図るため、生後6か月から1歳未満のこどもがいるご家庭に、保育士が訪問し、育児相談や子育ての情報提供などを行い、育児支援の必要なケースを早期に把握し、適切な子育て支援サービスにつなげ、期待どおりの成果を得ることができたため。
草津っ子サポート事業	こども家庭若者課	○	生後1歳未満の子を持つ子育て世帯の希望者に対し、家事・育児を担うヘルパー派遣を行い、子育て支援を行うことができ、期待どおりの成果を得ることができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
未熟児養育医療事業	子育て相談センター
母子健康教室開催事業	子育て相談センター
養育支援訪問事業	子育て相談センター
多胎児養育支援ヘルパー派遣事業	こども家庭若者課
児童福祉援護事務	こども家庭若者課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】						
主観指標項目	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
14 私の暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い	実数	3.2	3.2			
	偏差値	59.5	59.5			
関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】						
客観指標No. (令和7年度)	26					

備考

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち		分野	こども・子育て・若者
基本方針	就学前から学童期までの子育て環境のさらなる充実		基本方針に関連するSDGsの目標	     
施策番号	9-02-①	施策名	就学前教育・保育の量の確保と質の向上	

施策の概要

児童数や教育・保育ニーズの変化に対応するため、安全・安心な保育環境や施設定員の確保と併せて、教育・保育を担う質の高い人材の安定的な確保・育成に取り組めます。また、こどもの豊かな育ちや学びを支えるため、長期的な視点に立ち、学校教育への円滑な接続を図りながら、教育・保育内容の充実に努めます。

成果指標(単位)	「就学前から学童期までの子育て環境のさらなる充実」に満足している市民の割合(%)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	21.8	22.1	22.4	22.7
実績値	21.5	22.6			

成果指標実績に対するコメント

市民意識調査の結果、就学前から学童期までの子育て環境のさらなる充実満足している市民の割合は、前年度より1.1ポイント増加し、目標値を達成することができた。待機児童が発生したものの、小規模保育施設の整備支援により、保育の受け皿を拡充したことや、子育て支援施策として、第3子以降の保育料無償化や保育施設等へ紙おむつを無償配布等を行っていることなどに対する市民の評価が表れたものと考えられる。

施策の達成度評価

安全・安心な保育環境に向けて、保育所・認定こども園等の運営支援や、公立施設における適正な維持管理等を行うとともに、待機児童解消に向けた小規模保育施設施設の整備を支援し、施設定員増を行った。
また、奨学金返還支援や定着応援支援補助の実施、ダイレクトメールやSNSを活用した広報周知強化により、市内保育施設の人材確保および定着を推進するとともに、質の高い就学前教育・保育の提供に向けて、保育士等を対象とした各種研修を実施し、人材育成を図った。

当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標のなかで、「No.15 私の暮らしている地域では、子どもたちがいきいきと暮らせる」「No.6 私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい」は、偏差値が60を上回る結果であった。こうした偏差値が高い水準であったことを継続できるよう、ウェルビーイングの観点からも、引き続き、保育の受け皿と保育士確保と合わせ、質の高い就学前教育・保育を提供するための人材育成等を行っていききたい。

評価に基づいた令和9年度取組についての考え方

保育所・認定こども園等の運営支援や、公立施設における適正な維持管理等を引き続き行うとともに、就学前児童数や保育需要の動向を見極めながら、待機児童の解消に向けた施設定員と保育士の確保、また質の高い就学前教育・保育を提供するための人材確保、必要な保護者負担軽減に取り組む。

就学前教育・保育の量の確保と質の向上の取組は、「No.6 私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい」「No.14 私の暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い」「No.15 私の暮らしている地域では、子どもたちがいきいきと暮らせる」「No.19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」といった指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取組であると考えており、引き続き、就学前教育・保育施設における運営支援、維持管理、施設定員と保育士の確保や人材育成、保護者負担の軽減を実施していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
施設等利用給付事業(民生費)	幼児課	○	認可外保育施設や私立幼稚園等における幼児教育・保育の無償化対象者への子ども・子育て支援法に基づく利用給付を円滑に行い、子育て世帯の経済的負担の軽減を図ることができたため。
施設等利用給付事業(教育費)	幼児課	○	
保育所・認定こども園運営支援事業	幼児課	○	公立保育所・認定こども園において、必要な保育士等の配置を行うことにより、保育体制の確保を行うことができたため。
認定こども園運営支援事業	幼児課	○	
保育所・認定こども園指導研修事業	幼児課	○	初任者や若年層職員を対象とした研修や、中堅職員等に対するキャリアアップ研修等を行い、職員のスキルや知識の向上を促進できたため。
認定こども園指導研修事業	幼児課	○	
保育士等確保対策事業(民生費)	幼児課	○	学生や潜在保育士等に対し、ダイレクトメールやSNS広告配信等を活用し、本市の保育士支援制度や保育施設の情報を発信することにより、保育士の安定的確保につなげることができたため。
保育士等確保対策事業(教育費)	幼児課	○	
家庭的保育事業	幼児課	○	家庭的保育施設に対して、給付費の支弁に併せて、保育体制の強化に対する支援や食材料費高騰対策への支援を行うことにより、低年齢児の保育環境の充実を図ることができたため。
家庭的保育事業	幼児施設課	○	
小規模保育事業	幼児課	○	保育ニーズを満たすためには、定員確保とともに人材確保も重要であることから、小規模保育施設に対して、給付費の支弁に併せて、良質な教育・保育を提供するため国基準より充実した保育士等の配置や保育士確保、食材料費高騰対策への支援を行うことで、低年齢児の保育環境の充実を図ることができたため。
小規模保育事業	幼児施設課	○	
民間保育所委託費支給事業	幼児施設課	○	私立認可保育所に対して、子ども・子育て支援法に基づき、給付費を支弁することにより、入所児童の保育環境の充実を図ることができたため。

■施策評価シート

9-02-①

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
民間保育所運営補助事業	幼児施設課	○	保育ニーズを満たすためには、定員確保とともに人材確保も重要であることから、私立認可保育所に対して、良質な教育・保育を提供するため国基準より充実した保育士等の配置や保育士確保、食材料費高騰対策への支援を行うことで、入所児童の保育環境の充実を図ることができたため。
民間認定こども園施設型給付費支給事業(民生費)	幼児施設課	○	私立幼保連携型認定こども園などに対して、給付費を支弁することにより、入所児童の保育環境の充実を図ることができたため。
民間認定こども園運営補助事業	幼児施設課	○	保育ニーズを満たすためには、定員確保とともに人材確保も重要であることから、私立幼保連携型認定こども園などに対して、良質な教育・保育を提供するため国基準より充実した保育士等の配置や保育士確保、食材料費高騰対策への支援を行うことで、入所児童の保育環境の充実を図ることができたため。
保育所・認定こども園管理運営事業(民生費)	幼児施設課	○	公立保育所および公立幼保連携型認定こども園の運営や維持管理を適切に行うことにより、良質な教育・保育環境を提供することができたため。
認定こども園管理運営事業(教育費)	幼児施設課	○	公立幼稚園型認定こども園の運営や維持管理を適切に行うことにより、良質な教育・保育環境を提供することができたため。
民間幼稚園・認定こども園運営事業(教育費)	幼児施設課	○	私立幼稚園や幼稚園型認定こども園に対して、食材料費高騰対策への支援等を行うことで、入所児童の教育・保育環境の充実を図ることができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
保育所・認定こども園管理運営事業	こども若者政策課
認定こども園運営支援事業(教育費)	幼児施設課
保育所・認定こども園運営支援事業(民生費)	幼児施設課
家庭支援活動事業	幼児課
私立幼稚園運営推進事業	幼児課
認定こども園運営補助事業(幼児課)	幼児課
認定こども園管理運営事業	幼児課
認定こども園給食事業	幼児課
認定こども園保健推進事業	幼児課
保育所・認定こども園管理運営事業	幼児課
保育所・認定こども園給食事業	幼児課
保育所・認定こども園健康管理事業	幼児課
保育所運営補助事業(幼児課)	幼児課
預かり保育事業	幼児課
幼稚園・認定こども園運営事業(幼児課)	幼児課
利用者負担額管理回収事業	幼児課
他自治体広域入所事業(教育費)	幼児施設課
他自治体広域入所事業(民生費)	幼児施設課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
6	私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい	実数	3.4	3.4			
		偏差値	58.0	63.0			
14	私の暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い	実数	3.2	3.2			
		偏差値	59.5	59.5			
15	私の暮らしている地域では、子どもたちがいきいきと暮らせる	実数	3.4	3.5			
		偏差値	64.6	66.5			
19	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	実数	3.1	3.2			
		偏差値	55.2	57.9			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)	6	21	22	23	24				

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち	分野	こども・子育て・若者
基本方針	就学前から学童期までの子育て環境のさらなる充実	基本方針に関連するSDGsの目標	     
施策番号	9-02-②	施策名	多様なニーズに対応する保育サービスの充実

施策の概要

こどもが安全で安心でき、健やかに育まれる放課後の活動場所として、児童育成クラブの充実と施設の整備を図ります。また、病気や病気回復期で、保護者の就労等により家庭保育が困難な場合に、病児保育室での保育を行います。

成果指標(単位)	児童育成クラブ入会率(%)				
	令和6年度 (※基準値)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値		100	100	100	100
実績値	99.6	99.7			

成果指標実績に対するコメント

令和7年度の児童育成クラブ入会率は、前年度より0.1%増加したものの、目標値を達成することはできなかった。新たに民設民営の児童育成クラブを整備したものの、一部の小学校区で受入可能人数を上回る入会申し込みがあり、継続して利用ニーズが増加していることが要因である。

施策の達成度評価

民設児童育成クラブの開設による定員増や、各児童育成クラブにおける受け入れにかかる弾力運用を行い、前年度比で106人増の受け入れを行ったが、一部の小学校区で受入可能人数を上回る入会希望があったため、待機児童が発生した。病児保育室については、新たに1施設を開設したことで受け入れ体制を強化し、より安心して働き続けられる環境を整えた。

当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、偏差値が高い順に、「No.15 私の暮らしている地域では、子どもたちがいきいきと暮らせる」「No.14 私の暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い」「No.19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」があり、いずれも偏差値が55を上回る結果であった。本市は、家庭の就労支援として、児童育成クラブや病児保育室の取組を進めており、こうした偏差値が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き、児童育成クラブや病児保育室がより効果的な取組となるよう引き続き取り組む。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

これまでの取組により、児童育成クラブについては、民設児童育成クラブの開設による定員増に努めてきた。市域全体の小学生人口はピークを迎える見込みであるが、開発等による影響や多様化する保育ニーズにより、今後も児童育成クラブへの入会希望者数が増加する可能性があるため、引き続き保育ニーズを注視しながら、待機児童の解消に向けた取組を行っていく。また、病児保育室については、就労と子育ての両立に向け、これまでの環境を安定的に維持していく。

児童育成クラブ・病児保育室の取組は、子育て世帯への就労支援だけでなく、「No.14 私の暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い」「No.15 私の暮らしている地域では、子どもたちがいきいきと暮らせる」「No.19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」といった指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取り組みであると考えており、こうした指標が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイング向上の観点からも子育て環境の整備の取組をはじめ、多様な保育ニーズに応える事業を実施していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
児童育成クラブ運営事業	こども若者政策課	○	待機児童の解消に向けた取組を実施するとともに、支援員等への研修を行うことにより、安全・安心なクラブ運営が図れたため。
病児・病後児保育運営事業	こども若者政策課	○	安全・安心な病児・病後児保育の運営体制を確保できたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】									
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度		
14	私の暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い	実数	3.2	3.2					
		偏差値	59.5	59.5					
15	私の暮らしている地域では、子どもたちがいきいきと暮らせる	実数	3.4	3.5					
		偏差値	64.6	66.5					
19	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	実数	3.1	3.2					
		偏差値	55.2	57.9					
関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									
客観指標No. (令和7年度)									備考

■施策評価シート

9-03-①

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち		分野	こども・子育て・若者
基本方針	こども・若者や親子がいきいき過ごせる場づくり		基本方針に関連するSDGsの目標	    
施策番号	9-03-①	施策名	子育て支援ネットワークの推進	

施策の概要

JR 草津駅前と南草津駅前の子育て支援拠点施設を中心とした子育て支援施設を通じて、子育て支援に関する様々な情報や、交流の場を提供するとともに、関係団体等のネットワークをさらに強化し、関係機関との連携を深めます。

成果指標(単位)	子育て支援拠点施設を利用された人数(人)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	116,333	112,522	109,052	108,651
実績値	117,041	118,116			

成果指標実績に対するコメント

こどもと子育て中の親子の交流の場の提供、子育てに関する相談や情報発信を行うため、子育て支援拠点施設の適正な運営を行い、地域の身近な場所で、親子の交流や育児相談等を通じて、子育ての不安を軽減するとともに、こどもの健やかな育ちを促進したことで、目標値を上回ることができた。

施策の達成度評価

市内に7か所の子育て支援施設を設置し、地域の身近な場所で気軽に育児相談等ができ、関係機関への必要な支援に繋がりました。引き続き、子育て世帯の必要な支援に繋がれるよう関係機関との連携を強化したい。

当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.14 私の暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い」、「No.19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」であり、偏差値は両方とも50後半という結果であった。本市では、偏差値が比較的高水準であることから、引き続きこれらの支援を継続する。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

これまでの取組により、子育て支援施設の利用者数は増加傾向であり、さらに利用しやすくなる取り組みとして、子育て関連イベントの充実や積極的な周知に努めていきたい。

子育て支援ネットワークを推進し、関係機関の連携が強化されることで、「No.14 私の暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い」、「No.19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」といった指標にかかるウェルビーイング向上に資すると考えており、子育て世帯の必要な支援に繋がれるよう関係機関との子育て支援ネットワークを強化したい。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
児童館運営事業	子育て相談センター	○	児童健全育成の推進を図るため、児童館活動を実施する社会福祉法人への補助を行い、子育てに関する相談や親子の交流の場を提供するための広場を運営した結果、期待どおりの成果を得ることができたため。
つどいの広場事業	子育て相談センター	○	おおむね3歳未満の子育て家庭が気軽に集い、こどもの育ちや思いを語り合い、交流するための広場を運営した結果、期待どおりの成果を得ることができたため。
子育て支援センター運営事業	子育て相談センター	○	子育てに関する相談や親子の交流、学習の場を提供するとともに、公的なサービスや民間活動の情報を集約し、子育て情報サイト等を通して発信し、子育ての不安や悩みを抱える家庭の解消に向け事業を推進した結果、期待どおりの成果を得ることができたため。
子育て支援拠点施設運営事業	子育て相談センター	○	こどもと保護者が交流することのできる場の提供、子育てに関する相談機能、子育てに関する情報発信機能を備えた子育ての中核拠点となる施設、子育て支援拠点施設を適正に運営した結果、期待どおりの成果を得ることができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
子育て支援事業	子育て相談センター

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
14	私の暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い	実数	3.2	3.2			
		偏差値	59.5	59.5			
19	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	実数	3.1	3.2			
		偏差値	55.2	57.9			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】								備考
客観指標No. (令和7年度)		26						

■ 施策評価シート 9-03-②

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち		分野	こども・子育て・若者
基本方針	こども・若者や親子がいきいき過ごせる場づくり		基本方針に関連するSDGsの目標	    
施策番号	9-03-②	施策名	こども・若者が安心できる場づくり	

施策の概要
社会生活を送るうえで様々な悩みを抱えているこども・若者に対して、個性や能力に合わせた居場所を提供し、自己肯定感や自己有用感を高め、社会参加や自立に向けたステップを歩めるよう支援します。また、地域や団体と連携し、地域行事や体験活動、社会活動への参加を通じて、地域におけるこども・若者の居場所の充実を図ります。

成果指標(単位)	草津市子ども・若者の居場所に参加して、期間当初から環境に変化が見られた者の割合(%)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	60	60	60	60
実績値	60	75			

成果指標実績に対するコメント
居場所に参加したこども・若者における効果測定の結果、期間当初から環境に変化が見られた割合は前年度より15ポイント増加し、令和7年度の目標値を上回った。これは、居場所スタッフやこども・若者相談員が、本人の個性や能力をみながら、思いを表出できて安心できる場づくりを行ったことにより変化が表れたものとする。

施策の達成度評価
こども・若者の居場所事業を推進した結果、様々な悩みを抱えているこども・若者の社会参加や自立に向けたステップを歩むことができ、一定の効果がみられた。引き続き、社会活動への参加等を通じて効果的な居場所事業となるよう進めていく。
当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.15 私の暮らしている地域では、子どもたちがいきいきと暮らせる」があり、偏差値が60を上回る結果であった。引き続き、ウェルビーイングの観点からも、社会生活を送るうえで様々な悩みを抱えているこども・若者が社会参加や自立に向けたステップを歩めるよう、個性や能力に合わせた柔軟な居場所を提供できるよう相談・支援を行いたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
これまでの取組により、居場所に参加したこども・若者は、目標値以上に参加者の環境に変化が見られた一方で、参加者の固定化など課題はあることから、令和9年度は引き続き、参加しているこども・若者に対して、個性や能力に合わせた柔軟な居場所を提供するための相談・支援を行うとともに、支援を必要とする人には新たに一歩踏み出して居場所に参加できるよう相談・支援を進めていく。
様々な悩みを抱えているこども・若者に合った居場所を提供する取組は、「No.15 私の暮らしている地域では、子どもたちがいきいきと暮らせる」といった指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取組であると考えており、こうした指標が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイング向上の観点からも、引き続き、関係機関等との連携を深め、参加者の個性や能力に合わせた柔軟な居場所が提供できるよう相談・支援を行っていく。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
こども・若者支援事業	こども家庭若者課	○	社会生活を送るうえで様々な悩みを抱えているこども・若者が社会参加や自立に向けたステップを歩めるよう、関係機関等との連携を深め、個性や能力に合わせた柔軟な居場所を提供し、相談・支援を行うことができたため。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
15	私の暮らしている地域では、子ども たちがいきいきと暮らせる	実数	3.4	3.5			
		偏差値	64.6	66.5			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)									

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち		分野	こども・子育て・若者
基本方針	こども・若者を支える環境づくり		基本方針に関連するSDGsの目標	       
施策番号	9-04-①	施策名	こども・若者の健全育成の推進	

施策の概要
こども・若者が、自分らしく自らの希望に応じてその意欲と能力を生かすことができる環境を作るため、地域・学校・関係機関が連携し、こども・若者の健全育成を進めます。 また、相談業務や支援プログラムを実施し、非行からの立ち直りを支援します。

成果指標(単位)	草津市青少年育成大会の内容について「とてもよかった」「よかった」と回答した市民の割合(%)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	85	86	87	88
実績値	82.8	81.2			

成果指標実績に対するコメント
青少年育成大会の参加者へのアンケートの結果、草津市青少年育成大会の内容について「とてもよかった」「よかった」と回答した市民の割合は、前年度に比べて1.6ポイント減少し、目標値の達成には至らなかったが、参加者からは「こどもたちの逞しさと思い強さを感じた」「社会に出るための経験の必要さを感じた」等の意見があり、青少年への理解や関心を示されていたものとする。

施策の達成度評価
青少年の育成活動事業などの各種事業を推進した結果、地域・学校・関係機関との連携や草津市青少年育成市民会議の活動については、青少年の健全育成に関する意識・関心につなげることができ、一定の効果が見られた。また、少年センターにおける相談業務や支援プログラムについては、就労や進学につなげるなど非行等からの立ち直りへの一助となった。
当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.15 私の暮らしている地域では、子どもたちがいきいきと暮らせる」は偏差値が65を上回り、「No.19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」は、偏差値が55を上回る結果であった。 ウェルビーイングの観点からも、こども・若者が、自分らしく自らの希望に応じてその意欲と能力を生かすことができるよう、引き続き、関係機関等との連携を深め、一人ひとりに寄り添った環境づくりや相談・支援を行う。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
引き続き青少年の健全育成のため、地域・学校・関係機関が連携を深め、こども・若者が自分らしく自らの希望に応じてその意欲と能力を生かすことができる環境づくりを草津市青少年育成市民会議の活動を通して行う。また、立ち直り支援については、一人ひとりに寄り添った支援ができるよう、相談や支援プログラム等を行っていく。
こども・若者が、自分らしく自らの希望に応じてその意欲と能力を生かすことができるよう、関係機関等との連携を深め、一人ひとりに寄り添った環境づくりや相談・支援を行う取組は、「No.15 私の暮らしている地域では、子どもたちがいきいきと暮らせる」「No.19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」といった指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取組であると考えており、こうした指標が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイング向上の観点からも、こども・若者が、自分らしく自らの希望に応じてその意欲と能力を生かすことができるよう、引き続き、関係機関等との連携を深め、一人ひとりに寄り添った環境づくりや相談・支援を行う。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
こども・若者育成支援推進事業	こども家庭若者課	○	様々な悩みを抱えるこども・若者に対して、相談窓口での丁寧な相談支援を行うことができた。またこども若者支援協議会や研修会の開催により関係機関との連携強化を図ることができたため。
少年センター管理運営事業	こども家庭若者課	○	草津市青少年市民会議と共同して、育成大会の開催や、挨拶(あいさつ)運動の推進など青少年の健全育成を推進できたため。
青少年育成活動事業	こども家庭若者課	○	相談や支援プログラムの実施と併せ、少年補導委員や警察、学校等と協力しながら街頭補導活動を通じて、非行防止と立ち直り支援を図ることができたため。

■施策評価シート 9-04-①

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
こども・若者会議運営事業	こども若者政策課
青年国際交流事業	生涯学習課
20歳のつどい開催事業	生涯学習課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
15	私の暮らしている地域では、子どもたちがいきいきと暮らせる	実数	3.4	3.5			
		偏差値	64.6	66.5			
19	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	実数	3.1	3.2			
		偏差値	55.2	57.9			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)									

■施策評価シート

9-04-②

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち	分野	こども・子育て・若者
基本方針	こども・若者を支える環境づくり	基本方針に関連するSDGsの目標	        
施策番号	9-04-②	施策名	児童虐待の防止と早期発見・早期対応

施策の概要
児童虐待の防止、早期発見・早期対応に努めるとともに、こどもとその家族の安心できる生活のための支援として、必要な相談体制の充実や関係機関等との連携を進めます。

成果指標(単位)	児童虐待による死亡事例の発生件数(件)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	0	0	0	0
実績値	0	0			

成果指標実績に対するコメント
令和7年度の児童虐待による死亡事例の発生件数は0件であり、目標値を達成することができた。児童虐待の防止、早期発見・早期対応の推進によるものとする。

施策の達成度評価
相談窓口の周知や関係機関連携を図るとともに、オレンジリボンの啓発や関係機関向けの研修を実施したことにより、児童虐待防止の効果がみられた。引き続き、児童虐待の防止に向け、早期発見と迅速かつ適切な支援を行うため、各関係機関と連携し、対策・支援策を講じる必要がある。
当該施策に関する地域幸福度(Well-Being)指標は「No.15 私の暮らしている地域では、子どもたちがいきいきと暮らせる」であり、偏差値が60を上回る結果であった。高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き、児童虐待の防止に向け、早期発見と迅速かつ適切な支援を行うため、各関係機関と連携し、対策・支援策を講じる必要がある。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
これまでの取組により、児童虐待の防止の効果がみられたことから、引き続き、様々な相談に応じ、関係機関と連携し、児童虐待の防止、早期発見・早期対応に取り組む。
児童虐待防止の取組は、「No.15 私の暮らしている地域では、子どもたちがいきいきと暮らせる」の指標にかかるウェルビーイング向上に資する取組であると考えており、指標が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイング向上の観点からも、引き続き、様々な相談に応じ、関係機関と連携し、児童虐待の防止、早期発見・早期対応に取り組む。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
養育支援ヘルパー派遣事業	家庭児童相談室	○	支援が必要な家庭にヘルパー派遣を行い、子育ての負担軽減を図った結果、良好な育児環境を整えることができたため。
家庭児童相談指導事業	家庭児童相談室	○	児童虐待防止担当者向けの外部研修への参加や、内部研修を実施した結果、相談支援体制を強化することができたため。

■施策評価シート 9-04-②

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
子育て短期支援事業	家庭児童相談室

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
15	私の暮らしている地域では、子どもたちがいきいきと暮らせる	実数	3.4	3.5			
		偏差値	64.6	66.5			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】								備考
客観指標No. (令和7年度)								

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち	分野	こども・子育て・若者
基本方針	こども・若者を支える環境づくり	基本方針に関連するSDGsの目標	      
施策番号	9-04-③	施策名	ひとり親家庭や経済的困窮家庭等への支援の充実

施策の概要

ひとり親家庭等の自立と生活の安定のため、相談体制や経済的支援、日常生活の支援等の充実を図ります。また、こどもが生まれ育った環境に左右されことなく、将来の夢や目標の実現に向かっていけるよう、必要な支援を行います。

成果指標(単位)	高等職業訓練促進給付制度利用により資格取得後、就労に結びついた割合(%)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	100	100	100	100
実績値	100	100			

成果指標実績に対するコメント

令和7年度の高等職業訓練促進給付制度利用により資格取得後、就労に結びついた割合は100%であり、取得した資格を十分に活かし、就労につながったものとする。

施策の達成度評価

相談に応じながら、ひとり親家庭や経済的困窮家庭等への日常生活の支援や経済的支援、就職に有利な技能の習得や資格取得等のための各種給付金を活用いただいた結果、ひとり親家庭等の自立と安定を図ることができた。引き続き、ひとり親家庭等への相談支援や経済的支援、日常生活の支援等の充実を行いたい。

当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標、「No.14 私たちの暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い」の、偏差値は59.5であり、60に近い結果であった。
これは、必要な方へ必要な施策が届いていると考えられるが、さらなる向上を目指し、引き続き、必要な方へ必要な支援が届くように各事業を推進する。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

これまでの取組により、ひとり親家庭や経済的困窮家庭等への支援については相談体制の充実や経済的支援、日常生活の支援等において一定支援することができているが、さらにその取り組みを進めていくためには、支援制度の情報発信を積極的に行い、ひとり親家庭等の相談対応や、関係機関と連携を実施していく。

ひとり親家庭や生活困窮家庭等への支援の取組については、「No.14 私たちの暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い」の向上に資する取り組みであると考えており、この指標が高い水準であったことを踏まえ、今後においても必要な支援が必要な方へ届くよう、制度の周知や相談支援を行う。

■施策評価シート

9-04-③

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
児童扶養手当給付事業	こども家庭若者課	○	受給資格を確認のうえ、適切に給付を行ったため。
母子生活支援施設入所事業	こども家庭若者課	○	DV等の理由により母子の保護を行い自立に向けた支援を行うことができたため。
ひとり親家庭等支援事業	こども家庭若者課	○	母子・父子自立支援員を3名配置し、ひとり親家庭の相談対応や、各種支援制度の利用を勧め、ひとり親家庭の生活の安定を図ることができたため。
ひとり親家庭等就業支援事業	こども家庭若者課	○	ひとり親家庭の自立のため、就労に有利な技能の習得および資格取得等の支援を行うことができたため。
母子家庭福祉医療助成事業	保険年金課	○	助成要件を確認のうえ、適切に助成を行ったため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
助産施設入所事業	こども家庭若者課
母子等福祉活動費補助金事業	こども家庭若者課
母子福祉資金等貸付事業	こども家庭若者課
父子家庭福祉医療助成事業	保険年金課
母子家庭等福祉医療事務	保険年金課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】						
主観指標項目	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
14 私の暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い	実数	3.2	3.2			
	偏差値	59.5	59.5			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)									

■施策評価シート

9-04-④

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち	分野	こども・子育て・若者
基本方針	こども・若者を支える環境づくり	基本方針に関連するSDGsの目標	       
施策番号	9-04-④	施策名	発達障害児等への支援の充実

施策の概要

ライフステージを通して、医療、保育、教育、福祉、就労等の多様な関係機関と連携しながら、切れ目のない相談支援を進めます。また、発達に支援が必要なこどもに対して、早期に療育につなげるとともに、地域の教育・保育施設や児童発達支援事業所等が支援の充実を図ることができるよう児童発達支援センターの機能強化を推進します。

成果指標(単位)	相談支援延べ人数(人)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	3,992	4,032	4,073	4,113
実績値	3,914	4,008			

成果指標実績に対するコメント

発達に支援が必要な方への相談件数は前年度に比べ94人増加し、目標値を達成することができた。発達に支援が必要な方に対する相談支援のニーズは増加しており、発達支援センターに専門職を配置したことで、医療、保育、教育、福祉、就労等の多様な相談支援のニーズに対応できたものとする。

施策の達成度評価

発達支援センターが、地域の障害児支援の中核的役割を担う児童発達支援センターとして、早期療育や親子体験教室を実施し、早期からの発達支援に取り組んだ。また、乳幼児期から成人期にかけて相談支援を実施するとともにグループ保育やペアレント・トレーニングを行い地域支援や家族支援の充実を図ることができた。

令和6年度から令和7年度にかけて、最も偏差値が上昇した当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は「No.6 私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい」であり、上昇幅は5.0ポイントであった。
令和7年度は、切れ目のない相談支援などの「児童発達支援センターの機能強化」の施策を推進してきており、こうした上昇傾向を踏まえ、ウェルビーイングの観点からも引き続き支援の充実を図っていきたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

早期療育の充実や多様な相談支援のニーズに関係機関と連携しながら対応するとともに、地域の就学前教育・保育施設、学校、障害児通所支援事業所等の関係機関への支援に取り組む。

切れ目のない相談支援などの取組は、児童発達支援センターの機能強化を図るだけでなく「No.6 私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい」といった指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取組であると考えており、こうした上昇傾向を踏まえ、引き続き、ウェルビーイングの観点からも、切れ目のない相談支援をはじめ、発達に支援が必要なこどもに対して早期に療育につなげるための取組を実施していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
発達支援センター運営事業	発達支援センター	○	多様な相談支援のニーズに対応するとともに、グループ保育やペアレント・トレーニングを実施し、地域支援や家族支援に取り組むことができたため。
湖の子園運営事業	発達支援センター	○	親子体験教室を実施し、早期からの療育につなげるとともに、地域の保育所等に在籍する加配対象児の保護者の交流会を実施し、保護者支援に取り組むことができたため。

■施策評価シート 9-04-④

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
障害児通所給付事業	発達支援センター
障害児支援事業	発達支援センター

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
6	私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい	実数	3.4	3.4			
		偏差値	58.0	63.0			
19	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	実数	3.1	3.2			
		偏差値	55.2	57.9			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】								備考
客観指標No. (令和7年度)		6						

■施策評価シート

9-04-⑤

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち	分野	こども・子育て・若者
基本方針	こども・若者を支える環境づくり	基本方針に関連するSDGsの目標	       
施策番号	9-04-⑤	施策名	子育てに伴う経済的負担の軽減

施策の概要

子育て家庭の経済的負担の軽減を図るため、児童手当の支給や乳幼児、小中学生・高校生等の医療費助成等を行います。

成果指標(単位)	「こども・若者を支える環境づくり」に満足している市民の割合(%)				
	令和6年度 (※基準値)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値		21.8	22.1	22.4	22.7
実績値	21.5	20.0			

成果指標実績に対するコメント

市民意識調査の結果、こども・若者を支える環境づくりに満足している市民の割合は、前年度と比べ1.5ポイント低くなり、目標値を達成することはできなかったものの、子育てに伴う経済的負担の軽減については一定図れていると考える。

施策の達成度評価

子育て家庭への児童手当の支給や、乳幼児・小中学生・高校生等の医療費助成等を適切に行い、子育て家庭の経済的負担の軽減を図ることができた。引き続き、子育てに伴う経済的負担の軽減に向け施策の推進を図っていく。

当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標、「No.14 私たちの暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い」の、偏差値は59.5であり、60に近い結果であった。
これは、必要な方へ必要な施策が届いていると考えられるが、さらなる向上を目指し、引き続き、必要な方へ必要な支援が届くように各事業を推進する。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

子育て家庭への経済的負担軽減のため、引き続き適切な助成や手当の給付を進める。

子育て家庭への経済的負担軽減については、「No.14 私たちの暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い」の向上に資する取り組みであると考えており、この指標が高い水準であったことを踏まえ、今後においても必要な支援が必要な方へ届くように、制度の周知や相談支援を行う。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
児童手当給付事業	こども家庭若者課	○	受給資格・対象を確認のうえ、適切に給付を行ったため。
乳幼児福祉医療助成事業	保険年金課	○	助成要件を確認のうえ、適切に助成を行ったため。
小中学生・高校生等医療助成事業	保険年金課	○	助成要件を確認のうえ、適切に助成を行ったため。

■施策評価シート 9-04-⑤

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
特別児童扶養手当給付事務	こども家庭若者課
児童手当給付事務	こども家庭若者課
小中学生・高校生等医療事務	保険年金課
乳幼児福祉医療事務	保険年金課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
14	私の暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い	実数	3.2	3.2			
		偏差値	59.5	59.5			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】								備考
客観指標No. (令和7年度)		26						